

兵庫県森林動物研究センターシンポジウム開催結果

当研究センターのシンポジウムを2月27日(日)に開催したところ多くの方々にご参加いただきありがとうございました。お陰をもって盛況かつ有意義なシンポジウムを開催することができました。

今回は、昨年夏以降の兵庫県下におけるツキノワグマの大量出没について、その要因と今後の対策を考えることを目的としてシンポジウムを開催しました。

1 開催日時 平成23年2月27日 13:00～17:00

(プログラム)

区 分	内 容	講師名等
1 開 会	主催者あいさつ	名誉所長 河合 雅雄
2 話題提供		
(1) 話題提供-1	出没及び被害の発生状況と対応	森林動物専門員 稲葉 一明
(2) 話題提供-2	生息環境と堅果の豊凶	研究員 藤木 大介
(3) 話題提供-3	捕獲個体の栄養状態と繁殖状況	協力研究員 中村 幸子
(4) 話題提供-4	生息動向の推移と個体数推定	主任研究員 坂田 宏志
(5) 話題提供-5	行動特性と出没との関係	主任研究員 横山 真弓
3 パネルディスカッション	コーディネーター	所 長 林 良博
4 閉 会		

※ 各話題提供内容の詳細は別添「しおり」とおり

2 開催場所 県立美術館ミュージアムホール
(神戸市中央区脇浜海岸通1-1-1)

3 参加(申込)者の状況

(1) 参加申込者数及び男女別内訳

区分	うち男性	うち女性	総申込者
人数	154	58	212
比率	73.0%	27.0%	100.0%

(2) 参加申込者の住所地別内訳

区分	県外	県内					計	合計
		神戸・阪神	東北播磨	西播磨	丹波	但馬		
人数	86	82	23	8	2	11	126	212
比率	40.6%	38.7%	10.8%	3.8%	0.9%	5.2%	59.4%	100.0%

(県外参加申込者の内訳)

区分	大阪府	京都府	他近畿	岡山県	他中国	その他	計
人数	18	17	4	11	15	21	86
比率	8.5%	8.0%	1.9%	5.2%	7.1%	9.9%	40.6%

(3) 参加者の状況

区分	事前申込	当日参加	計
人数	172	20	192

4 アンケート結果

参加者192人中、約半数の93人の方々からアンケートの提出をいただきありがとうございました。

区分	主な意見等
話題提供・パネルディスカッション	<ul style="list-style-type: none"> 各話題提供の内容が、大変分かりやすく参考になった。 堅果の豊凶と行動、出没、出産等に関係していることが分かった。 クマの生態等をよく理解できた。
次回以降のシンポジウムで取り上げて欲しいテーマ等	<ul style="list-style-type: none"> シカ、イノシシ、アライグマ等外来生物に対する要望が多ったほか、野生動物保全、被害地域の人々、植生実態との関わりなどに関する意見がありました。 ※ 野鳥・両生類等に関する意見もありましたが、当センターでの研究対象になっておりませんのでテーマ等にはできません。
その他意見	<ul style="list-style-type: none"> クマの保全と管理について、分かりやすい説明で理解できた。 色々なテーマが同時に聞くことができ良かった。 今後さらに研究成果を深化させて欲しい。 クマが棲める豊かな森を回復することが大切 ※その他、県境での行動など幅広い多くの意見があり、次回以降の参考とさせていただきます。

5 開催風景



受付風景



会場内風景



主催者あいさつ



話題提供



話題提供



パネルディスカッション